

「青少年の意識に関する調査」 結果報告書

平成 23 年 3 月

青 森 県

はじめに

近年、青少年を取り巻く環境は、少子化や核家族化、高度情報化などによって大きく変化しています。こうした中、家族間の問題や携帯電話をはじめとした情報端末の使用がきっかけで起こる様々な問題により、青少年が加害者や被害者となる悲しい事件をニュースで耳にすることが増え、大変心を痛めております。

このような社会の変化に対し、本県の青少年がどのような意識をもっているのかを捉えるため、県では隔年で「青少年の意識に関する調査」を実施し、総合的かつ効果的に青少年行政を進めていくための基礎資料としています。

今年度は、県内の小学校・中学校・高等学校42校の御協力をいただき、家族や家庭、メディアやコミュニケーション、生活規範に対する意識などについて調査を実施し、青少年の意識と行動について報告書にとりまとめました。

「あおもりの未来をつくる人財」である青少年が、心豊かにそして健やかに成長することを願い、この報告書が行政はもとより、青少年の育成に携わる皆様に御活用いただき、今後の施策や活動の一助となれば幸いです。

最後に、本調査の実施にあたり、御協力いただいた弘前大学教育学部の佐藤三三教授をはじめ、各学校関係者並びに関係各位に厚く御礼申し上げます。

平成23年3月

青森県環境生活部青少年・男女共同参画課長

神 重 則

目 次

第1部	調査の概要	1
第2部	調査結果の概要	7
1.	地域のこと	
	青森県への評価	9
	住んでいる地域への評価	10
	地域の大人へのあいさつ	11
	地域の大人からのあいさつ	13
	チェック 命を大切にすることを育む県民運動	15
2.	学校のこと	
	学校生活への満足度	16
	学校生活が楽しい理由	18
	学校生活が楽しくない理由	19
3.	家族・家庭のこと	
	同居家族	20
	兄弟・姉妹の数	20
	「家庭の日」の周知状況	21
	チェック 毎月第3日曜日は「家庭の日」	22
	家族がいる家への評価	23
	家族との約束ごと	24
	父親との会話の頻度	26
	母親との会話の頻度	27
	家族や家庭に大切なこと	28
	周囲の大人について	29
	周囲の大人に望むこと	33
	家族以外のお年寄りとのふれ合い	37
4.	自分のこと	
	自己への評価	39
	自己への評価（満足度）	41
	他人への思いやり	47
	悩みごと	48
	悩みごとの相談相手	50
	本当に困ったときの相談相手	52
5.	メディア・コミュニケーションのこと	
	友だちとのコミュニケーション方法	54

携帯電話の所有状況	55
携帯電話の使用目的	57
携帯電話の使用時間	59
自由に使えるパソコンの所有状況	60
自由に使えるパソコンの使用目的	61
自由に使えるパソコンの使用時間	63
年齢が制限されているサイトへのアクセス状況	64
「学校裏サイト」へのアクセス状況	66
フィルタリング機能の認知状況	68
携帯電話のフィルタリング機能の利用状況	69
パソコンのフィルタリング機能の利用状況	70
チェック (県条例) インターネット上の有害情報からの青少年の保護	71
インターネット利用時のエチケットやマナーの認知状況	72
インターネット利用時のエチケットやマナーをどのようにして知ったか	73
6. 生活規範に対する意識	
深夜外出の状況	75
古物換金の状況	76
古物換金の理由	77
古物換金を保護者に知らせなかった理由	78
チェック (県条例) 深夜の連れ出し行為等の禁止、古物の買い受け等に関する規制	79
刃物の携帯状況	80
刃物の携帯の理由	81
刃物の使用場面と頻度	82
チェック (県条例) 危険器具の指定と販売等の禁止	85
生活規範に対する意識	86
7. 社会変化に対する意識	
社会変化に対する意識	93
第3部 調査結果からみた「最近の青少年の姿」について	99
弘前大学教育学部教授 佐藤 三三 氏	
参考1 調査結果集計表	109
参考2 調査票	131